



令和7年度 第1回賛助会員全員協議会

日 時 令和7年5月16日（金）14時40分

場 所 サンセール盛岡 1階「大ホール」

次 第

- 1 開 会
- 2 理事長挨拶
- 3 議長の選出
- 4 報告事項
 - (1) 令和6年度事業報告及び収支決算の状況について
 - (2) その他
- 5 閉 会

【報告事項】

令和6年度事業報告及び収支決算の状況について

令和6年度の事業報告及び収支決算の状況は、次のとおりである。

令和 6 年度 事業報告

令和 6 年度は、中尊寺金色堂建立 900 年、花巻空港開港 60 周年や三陸鉄道開業 40 周年などの周年イベントが実施され、これに併せて、県や関係機関と連携し観光キャンペーン等を展開し本県の魅力の P R に努めたが、観光庁の宿泊旅行統計調査による令和 6 年の本県の延べ宿泊者数（速報値）は、約 565 万人泊となり前年比の約 3.5% の微減、コロナ禍前の令和元年との比較では約 9 割に留まった。

一方、外国人観光客については、ニューヨーク・タイムズ紙効果の継続、花巻空港と上海との定期便の一時再開などを背景に、外国人宿泊者数は 383 千人泊となり前年比の 35% 増、令和元年比の 11% 増となり、大きく増加する結果となったところ。

こうした状況の中、当協会では、大都市圏において国内観光や教育旅行の誘致説明会を現地開催したほか、旅行会社を訪問しての教育旅行メニューの紹介や、県外旅行会社の沿岸地域への招待などにより誘致宣伝活動を行った。

また、国際観光の分野では、インバウンドの増加を受けて、台湾語・中国語に加えて英語の接客研修動画の配信や講師派遣、情報発信の手段として人気の高い SNS の活用研修など柔軟な事業運営に努めたほか、台湾等での旅行博や現地旅行会社との商談会に出席した。加えて、北東北三県・北海道ソウル事務所において、韓国旅行会社と観光事業者とのオンライン商談会や旅行会社の招請ツアー、意見交換会等を開催して、本県観光の紹介宣伝を行った。

さらに、新たな観光需要に対応した持続可能な観光地域づくりを推進していくため、専門人材の活用を通して、市町村等におけるデータマーケティング実践の普及に取り組むとともに、DMO（観光地域づくり法人）登録に向けた支援等を行いながら、協会の機能強化を推進し、令和 7 年 3 月には、県全域を対象とした観光地域づくりを担う登録 DMO として、観光庁から登録されたところである。

I 観光宣伝紹介

1 観光情報の発信

(1) 観光情報高度化推進事業

岩手県観光情報総合サイト「いわての旅」の管理運営を行い、各種イベントや桜等の季節の情報ははじめ、特集ページ「いわてで過ごす癒す旅」を掲載するなど、インターネットを通じた情報発信を行ったほか、県で実施する秋季及び冬季観光キャンペーンの連携情報発信に努めた。

また、バナー広告を募集し掲載した。(4～6月 10社、7～9月 9社、10～12月 11社、1～3月 11社、延べ41社掲載)

年 度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
アクセス件数 (対前年度比)	(3,785,462件) (39.5%増)	(4,636,515件) (22.5%増)	2,514,725件

※令和6年度からホームページをリニューアルしたため、アクセス件数は令和5年度以前とは比較できないこと。

(2) 観光情報システム分担金事業

(公社)日本観光振興協会の観光情報総合サイト「JAPAN 47 GO」を活用した情報発信のため「全国観光情報データベース」の整備・運用に係る分担金を拠出し、本県観光地等の知名度向上と誘客拡大を図った。

(3) パブリシティ(宣伝媒体)有効活用事業

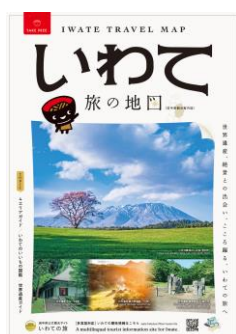
令和6年10月～12月に開催の岩手県秋季観光キャンペーン「秋は短し、旅せよ岩手キャンペーン」のPR等の広告宣伝として、タウン誌等を活用して本県の観光情報の発信に取り組んだ。

掲載年月	雑誌等広告媒体名	発行部数等	内 容
R6.10	旅情報誌「遊人」 (10月・11月号)	3万部(九州)	鉄道、バスのローカル線の旅をテーマに、北いわてを中心に歴史・文化・グルメなどの観光宣伝紹介
R6.11	タウン情報誌7誌 (アキュート11月号ほか)	25万部(東北6県及び栃木県)	岩手県秋季観光キャンペーン特別企画のほか、絶景、カフェ等テーマに沿った観光宣伝紹介

(4) 観光宣伝媒体作成事業

本県全体の観光地を紹介する岩手県観光案内図「いわて旅の地図」(30万部)を作成し、観光客等に広く配布した。

表紙



いわての世界遺産・みちのく潮風トレイルページ



(5) 観光キャラクター活用事業

本県のPRキャラクター「わんこきょうだい」のグッズを配布・販売し、本県の認知度向上と誘客拡大に取り組んだ。

若年層をターゲットに、岩手県公式Vtuber「岩手さちこ」を活用したグッズを試行的に作成販売し、本県への観光客誘致拡大を図った。

・販売個数	わんこきょうだい缶バッジ	84 個
	わんこきょうだいラバーストラップ	7 個
	そばっちぬいぐるみ	163 個
	そばっちぬいぐるみストラップ	707 個
	そばっち着ぐるみ帽子	16 個
	岩手さちこアクリルスタンド（花巻傘）	99 個
	岩手さちこアクリルスタンド（冬服）	49 個
	岩手さちこアクリルスタンド（秋服）	32 個
	岩手さちこアクリルキーホルダー	90 個
	岩手さちこアクリルバッジ	38 個
	岩手さちこスマホ用ステッカー	1,172 個



II 国内観光客の誘致促進

1 国内観光客の誘致促進

(1) 観光客誘致説明会

大都市圏からの誘客拡大を図るため、いわて観光キャンペーン推進協議会との共催で、東京都、大阪市、名古屋市の旅行会社の担当者等を対象とした観光客誘致説明会（「いわての旅」観光商談会）を開催し、本県の魅力ある観光資源の紹介・宣伝を行い、県内の観光・宿泊施設等との商談を通じて旅行商品の造成を促進した。

会 場	実 施 日	参加状況
東京会場 ホテルメトロポリタンエドモント	R6.9.13	旅行会社（19社40名）、岩手側（38名）
名古屋会場 名鉄グランドホテル	R6.11.11	旅行会社（9社16名）、岩手県側（38名）
大阪会場 ホテルモントレ大阪	R6.11.12	旅行会社（9社16名）、岩手県側（39名）

(2) エージェント(旅行会社)招待事業

県北・沿岸地域の旅行商品の造成及び販売促進、観光客の誘客拡大を図るため、県外旅行会社を招待し、景勝地や観光・宿泊施設、東日本大震災津波からの復興状況等の視察のほか、観光事業者等との意見交換会を行った。

実施日	招待者	主な視察先等
R7.3.11 ～3.13	2社6名 (株)阪急交通社 (仙台、名古屋、大阪) クラブツーリズム(株) (東京、名古屋、大阪)	三陸鉄道乗車体験（久慈駅～普代駅）、宮古市（学ぶ防災ガイド、浄土ヶ浜遊覧船）、岩泉町（龍泉洞、わっか）、釜石市（釜石大観音）、大船渡市（かもめテラス、ふるまいセンター）、陸前高田市（東日本大震災津波伝承館）等

・意見交換会 2回 岩手県側 35名参加（11日 18名、12日 17名）



学ぶ防災（宮古市）



意見交換会（2日目）

2 教育旅行の誘致促進

本県への教育旅行の誘致拡大を図るため、主要市場である北海道、東京都及び大阪府において、教育旅行説明会を開催し、本県の教育旅行プログラムや受入態勢等について紹介宣伝を実施した。

また、教育旅行説明会に参加した旅行会社を訪問し、フォローアップ及び情報収集を行うとともに、(公財)岩手県観光協会内「いわて教育旅行相談窓口」において教育旅行コンテンツや商品造成に必要な情報の提供や現地視察の旅費の補助などの旅行会社や学校に対する支援を行った。

ア いわて教育旅行相談窓口の設置

- ① 相談受付件数：31件
- ② 相談者内訳：学校8件、旅行会社23件
- ③ 相談内容：資料請求などの相談

イ 説明会

会場	実施日	参加状況
函館会場 プレミアムホテルキャビンプレジデント函館	R6.8.7	学校2校2名、旅行会社5社8名 岩手側 31団体
札幌会場 ホテルポールスター札幌	R6.8.8	学校2校5名、旅行会社5社18名 岩手側 34団体
東京会場 メトロポリタンエドモント	R6.8.22	学校2校4名、旅行会社4社16名 岩手側 32団体
大阪会場 ホテルモントレ大阪	R6.11.13	全修協2名、旅行会社6社19名 岩手側 20団体



札幌会場 田辺会長挨拶



東京会場 商談の様子

ウ 訪問活動

実施日	訪 問 先	訪 問 者
R 6. 7. 8～7. 10	札幌市内及び函館市内の旅行会社（9社）	幹事長及び事務局
R 6. 7. 17～7. 19	東京都内の旅行会社（6社）、修学旅行関係団体（2団体）	事務局及び東京事務所担当者
R 6. 9. 24	さいたま市内の旅行会社（1社）	事務局及び東京事務所担当者
R 6. 10. 16～10. 17	大阪市内の旅行会社（6社）、修学旅行関係団体（1団体）	幹事長、事務局及び大阪事務所担当者
R 6. 10. 15	立川市内の旅行会社（1社）	事務局及び東京事務所担当者

エ 現地視察の支援

実施日	来 訪 者	主 な 視 察 先
R 6. 10. 15～10. 17	都立高校教諭 1 名	盛岡市、八幡平市、花巻市、平泉町
R 7. 3. 12～3. 13	八王子市立中学校教諭 1 名	陸前高田市、花巻市、平泉町

オ 訪日教育旅行の誘致宣伝

盛岡広域振興局と連携し、来県した学校に対し、記念品を贈呈した。

- ・台中市立東山高級中学と盛岡中央高校との交流会（R 6. 4. 16）
- ・台中市立台中第一高級中学校と雫石高校との交流会（R 7. 1. 25）

Ⅲ 国際観光の推進

1 外国人観光客の誘致宣伝

外国人観光客の誘致に向けて、関係機関と連携し台湾、タイでの旅行博等に参加し、観光地の紹介や情報の発信に取り組んだ。

実施日	訪問先	参加イベント、派遣者数
R 6. 5. 14～5. 20	タイ	日本東北観光フェア、1 名
R 6. 12. 5～12. 9	台北市	東北遊楽日、1 名



タイ日本東北観光フェア



台湾 東北遊楽日

2 外国人観光客の受入

(1) 国際航空便歓迎行事等

本県への外国人観光客の誘客拡大を図るため、「花巻空港国際航空便歓迎実行委員会」において、いわて花巻空港の国際航空便（台北）を利用して来県する外国人観光客に対して、横断幕やのぼり旗の掲出、観光パンフレットや記念品の配布などの歓迎対応を行った。

また、韓国チャーター便運航時や上海線の期間限定運航再開時には、関係団体等と連携して歓迎対応を行った。



歓迎行事の様子

(2) 外国人観光案内所運営支援（いわて・盛岡広域観光センター）

盛岡駅2階の観光案内所「いわて・盛岡広域観光センター」内に設置されている「V案内所[※]」の運営に対し経費の一部を負担した。

(3) 外国人観光客受入態勢整備事業

海外から来県した旅行会社等の歓迎行事や意見交換会等に参加し、情報交換を行った。

実施日	内 容	会 場	参加者
R 6. 11. 27	タイ旅行会社との商談会 (花巻市主催)	花巻温泉	タイ側 6 名、岩手県側 20 名

3 北東北三県・北海道ソウル事務所管理運営（県受託事業）

北東北三県及び北海道が共同で設置している「北東北三県・北海道ソウル事務所」の管理運営を行った。また、韓国旅行会社と観光事業者との観光オンライン商談会や、韓国旅行会社の招請ツアー及び意見交換会を実施し、旅行商品造成の支援を行った。

ア 北東北三県・北海道観光オンライン商談会

実施期間	参加者
R 6. 10～R 6. 11	韓国側 40 社、岩手県側 8 団体（4 道県 34 団体）

イ 招請ツアー

実施日	参加者	主な視察先
R 6. 6. 29 ～ 7. 1	韓国旅行会社 3 名・ソウル事務所 1 名	盛岡市内（歴史文化館等）、繋温泉、みちのくあじさい園、花巻観光タクシープラン（菊池・大谷両選手記念モニュメント等）、大沢温泉「鈴木敏夫とジブリ展」、新鉛温泉、清水寺

・意見交換会（6. 29 実施、岩手県側 16 名参加）



オンライン商談の様子



招請ツアー意見交換会での集合写真

IV 受入態勢の整備

1 来県する観光客への対応

(1) 「いわて観光おもてなしセンター」・「V案内所」管理運営

本県の観光情報を総合的に提供するため、協会内に「いわて観光おもてなしセンター」を設置し、来訪、電話、手紙及びメール等での本県観光に係る意見、要望、相談及び資料請求等に対応した。

また、外国人観光客に対して情報を提供する「V案内所」を協会内に設置し相談等に応じたほか、国内外からの観光客に対し各種情報を提供した。

ア 観光情報等の問合せへの対応

区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
観光相談	1,927 件	2,415 件	1,606 件
資料送付	979 件	1,269 件	954 件
合 計	2,906 件	3,684 件	2,560 件

イ うち、外国人観光客からの問合せへの対応状況

区 分	令和6年度
問合せ別件数	窓口：4 件 電話 2 件 FAX：0 件 電子メール：27 件
内容別件数 (重複あり)	イベント・個人旅行・観光一般：17 件 印刷物：2 件 交通：7 件 宿泊：5 件 食事：0 件 娯楽：0 件 生活、その他一般：5 件

ウ 苦情等への対応状況

区分	件数	主 な 内 容
意 見	2 件	① レンタルバイクの情報をHPにのせてほしい ② 韓国人 YouTuber に岩手県の外国人向けプロモーション活動をお願いしてほしい
要 望	1 件	① 岩手県立美術館のミュージアムショップ・レストランの営業について
苦 情	1 件	① 御所野縄文公園の休園日について
計	4 件	

(2) いわて・盛岡広域観光センター運営支援

本県を訪れる観光客の利便性の向上を図るため、本県の観光情報の提供や相談対応等を行う盛岡駅 2 階の観光案内所「いわて・盛岡広域観光センター」の運営経費の一部を負担した。

区 分	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
来 訪 件 数	20,551 件	56,248 件	50,430 件
電 話 ・ 書 面	1,145 件	1,466 件	1,461 件
宿 泊 案 内	1,840 件	3,669 件	3,862 件

令和 4 年度は南口のみ。令和 5 年度及び令和 6 年度は南口と北口（臨時案内所）の件数。

2 観光人材の育成

(1) 観光ガイド育成事業

県内各地で活動する観光ガイドのガイド技術の向上とガイド団体相互のネットワーク化を目的に設立した「岩手県観光ガイド連絡協議会」（7/21「岩手県観光ボランティアガイド連絡協議会」から名称変更、事務局：（一社）花巻観光協会、加入団体 33（ガイド団体 21、支援団体 12）の活動を支援した。

ア 視察研修

実施日	参加者	主な視察先
R 6 . 7 . 21	観光ガイド等 65 名	伝え方等についての講演会（講師：えふえむ花巻(株)落合取締役放送局長）、花巻市内の街歩き（風林舎、花巻城址等）
R 6 . 11 . 18 ～11. 19	観光ガイド等 50 名	イギリス海岸、南部杜氏伝承館、早池峰と賢治の展示館、高村光太郎記念館、花巻東高校等（菊池・大谷両選手記念モニュメント、King of the Hill）

(2) 観光業務優良従事者表彰

観光業務に従事する職員の意欲の高揚と資質の向上を図るため、各団体から他の模範とするに足りると認められ推薦された者を優良従事者として表彰した。

※ 岩手県主催の「令和 6 年度岩手県商工観光業表彰（知事表彰）」と合同で実施。

副知事出席

- ・期日 令和 6 年 5 月 21 日（火）
- ・会場 盛岡グランドホテル
- ・被表彰者 7 名（下記のとおり）

区 分	推薦団体名	所属団体名	氏 名
宿泊・観光施設関係	公益財団法人盛岡観光 コンベンション協会	株式会社ブライトイン	鍛冶屋敷 タ子
		宮城開発株式会社	横坂 充史
	一般社団法人 大船渡市観光物産協会	株式会社海楽荘	日高 亜美
		大船渡インターホテル椿	古内 芹佳

宿泊・観光施設関係	一般社団法人 花巻観光協会	志戸平温泉株式会社	佐藤 亜希子
		花巻温泉株式会社	板垣 純
その他（観光協会、 観光関連施設関係）	一般社団法人 奥州市観光物産協会	一般社団法人 奥州市観光物産協会	那須川 真由美

(3) 接遇及び観光課題研修事業

本県の「おもてなし」の向上や観光課題把握のため、県内の観光事業者や団体職員を対象とした研修動画を作成し、賛助会員向けに公開している。昨年度作成した台湾編・中国編・初級編に加え、本年度はインバウンド英語編を作成・公開した。

また、効果的な動画作成を学ぶSNS活用研修会を実施した。

さらに、賛助会員が主催する県内各地域の接遇研修会に、台湾観光客向けのおもてなし等の講師を派遣する事業を行った。

ア おもてなしの心向上研修及びSNS活用研修会 研修動画配信

公開日	内 容	R6 アクセス件数（視聴者数）
R5年度 公開	台湾編 台湾人観光客のおもてなし	28件（22名）
	中国編 中国人観光客のおもてなし	12件（7名）
	初級編 基礎的なおもてなし	13件（11名）
	岩手観光SNS活用研修会	50件（35名）
R7.1.8	インバウンド英語編 外国人観光客のおもてなし	117件（77名）

イ 岩手観光SNS活用研修会動画作成編 開催

実施日	内 容	会 場	参加者
R6.9.10	インスタグラムのリールを中心とした 効果的な動画撮影及び編集の方法	いわて観光経済 交流センター	賛助会員等 19名

ウ 接遇研修会講師派遣事業 合計4回

実施日	実施団体	内 容	参加者
R6.10.10	岩手県空港ターミナルビル(株)	おもてなし台湾編	館内職員等 21名
R7.1.24	軽米町観光協会	おもてなし日本人応用編	観光関係者 11名
R7.2.10	(株)ホテルエース	おもてなし台湾編	職員等 24名
R7.2.13	(一社)岩泉町観光協会	おもてなし台湾編	観光関係者 14名



SNS活用研修会の様子



ホテルエースでの研修の様子

3 多様な顧客ニーズへの対応

(1) 「いわてバリアフリー観光^{注2}情報案内所」管理運営

協会内に「いわてバリアフリー観光情報案内所」を設置し、協会ホームページ「いわての旅」中の「いわてバリアフリー観光情報案内所」のページで、車いすの貸出や車いす対応の客室の有無など県内宿泊施設等の対応状況の情報を発信し、電話などの問合せに対応した。

また、心のバリアフリーに関する研修会を開催した。

- ・相談件数 3件
- ・心のバリアフリーでおもてなし研修会～台湾人観光客にみる多文化共生～

実施日 令和7年3月7日(金)

会 場 サンセール盛岡

出席者 38名

講 師 岩台朋友会 菅沼 レイブン氏

(2) 「観光の日^{注3}」事業

旧岩手県観光連盟が、西暦2000年(平成12年)に、県民一人ひとりが観光の持つ重要性を認識し、観光による地域づくりを考え、自ら取り組む契機となるよう5月16日を「いわて観光の日」と定めており、この日を記念して、講演会を開催した。

- ・実施日 令和6年5月21日(火)
- ・会 場 盛岡グランドホテル
- ・出席者 67名
- ・講 演 演題 世界に開かれた持続可能な観光地づくりを目指して
講師 一般社団法人田辺市熊野ツーリズムビューロー 会長 多田 稔子氏

V 関係団体等への支援と連携

1 関係団体への支援

(1) いわて観光キャンペーン推進費

いわて観光キャンペーン推進協議会の活動を推進するため、同協議会に対し負担金を拠出した。

(2) いわてウインターリゾート協議会事業

いわてウインターリゾート協議会が行うスキー客等の冬季観光客の誘客活動を推進するため、同協議会に対し負担金を拠出した。

(3) 各種キャンペーン支援事業

ア 観光関係催事への参加

県や関係機関等が実施する観光イベント等に参加し、観光PRを行った。

実施日	開催地	イベント名称等
R6. 4. 27～28	千葉市	ニコニコ超会議2024岩手県ブース対応
R6. 6. 22～23	東京都	岩手産直市 in 上野駅
R6. 9. 28	宮古市	「秋は短し、旅せよ岩手秋旅キャンペーン」オープニングセレモニー

R 6 . 10. 16～20	さいたま市	岩手産直市 in 大宮駅
R 6 . 10. 30～31	東京都	組合まつり in TOKYO2024 (主催：東京都中小企業団体中央会)
R 7 . 1. 11～12	川越市 東京都	いわて冬旅キャンペーン 2025 首都圏キャラバン
R 7 . 1. 25～26	さいたま市	青森・岩手産直市 in 大宮駅
R7 . 3 . 24～27	名古屋市	名古屋城春まつり



ニコニコ超会議 2024



秋季キャンペーン
オープニングセレモニー



冬旅キャンペーン
首都圏キャラバン

イ 後援、共催

雫石町教育委員会が主催する「第 22 回南部よしやれ全国大会」など、34 のイベント等に対して後援・共催を行った。

2 関係団体等との連携

(1) (公社) 日本観光振興協会への拠出金

47 都道府県等で構成する (公社) 日本観光振興協会のツーリズム EXPO ジャパンなどを行う全国広域観光振興事業に対し拠出金を拠出した。

(2) (一社) 東北観光推進機構事業

東北 6 県・新潟県・民間団体等で構成する (一社) 東北観光推進機構のオール東北による海外プロモーションや教育旅行の誘致活動などを通じて本県への観光客の誘客拡大を図るため、機構に対し負担金を拠出した。

(3) 北東北三県観光立県推進協議会事業

北東北三県観光立県推進協議会が行う香港旅行会社招請事業などを通じて本県への観光客の誘客拡大を図るため、協議会に対し負担金を拠出した。

(4) 観光宣伝事業等負担

岩手県空港利用促進協議会等の観光関係団体等に対し負担金を拠出した。

3 魅力ある観光地づくり支援事業

(1) 教育旅行受入施設支援緊急対策支援金業務 (県受託事業)

「教育旅行受入施設支援緊急対策支援金」に係る申請・実績報告書受付、審査及び支援金支出の業務を受託した。（3月末日現在）

対象宿泊実施期間	申請受付期間	件数	延べ宿泊者数
R6.10.1～R7.1.31	R7.2.3～R7.2.28	25 件	7,033 人
R7.2.1～R7.2.28	事業完了日から 30 日後	3 件	426 人
R7.3.1～R7.6.30	R7.2.3～R7.4.30	16 件	19,619 人
R7.7.1～R7.9.29	R7.6.2～R7.6.30		

VI 協会の機能強化

1 魅力ある観光地域づくりへの支援（県受託事業）

(1) データ分析・マーケティングの強化

地域資源を生かした特色ある優れた観光地域づくりを推進するため、県や専門人材と連携し、令和4年度から構築している「いわて観光データマネジメントプラットフォーム（いわて観光DMP）^{注4}」を活用して、専門人材による県内4圏域ごとの観光分析レポートを作成した。

また、いわて観光DMPを利用したデータマーケティング実践の定着を目的として、県内の市町村、市町村観光協会、観光地域づくり法人（DMO^{注5}）、観光事業者等を対象にデータマーケティング実践塾を開催した。

・いわて観光マーケティング実践塾 2024

実施日	会 場	参加状況
R6.9.12	奥州地区合同庁舎	県、市町村、DMO 及び観光事業者職員 11 名
	釜石地区合同庁舎	県、市町村、DMO 及び観光事業者職員 10 名
R6.9.13	マリオス	県、市町村、DMO 及び観光事業者職員 21 名
	二戸地区合同庁舎	県、市町村職員 8 名



マーケティング実践塾



(2) 観光地域づくり実践地域の育成

地域間競争に対応できる観光地域づくりを目指し、専門人材を派遣して、観光地域づくりの取組に支援を行った。市町村やDMOに対し、持続可能な観光地域づくりやDMO登録に向けた支援を行うとともに、国の補助金事業等の情報提供を行った。

また、県内DMO同士の意見交換を目的とした連絡調整会議の開催を行った。

さらに、市町村、観光協会、県内DMO等を対象に持続可能な観光セミナーを、宿泊事業者や商工会等を対象に宿泊事業者向け経営力強化セミナーを開催するとともに、市町

村や宿泊事業者にヒアリングを行った。

・主な会議、研修会

実施日	主催	研修会等の名称	参加者
R6. 5. 21	岩手県 観光協会	「いわて観光の日」講演会 世界に開かれた持続可能な観光地 づくりを目指して（一般社団法人田 辺市熊野ツーリズムビューローの取 組事例）[再掲]	賛助会員（県内観光関 係者）67名
R6. 6. 11		第1回DMO連絡調整会議 （各DMO取組紹介等の全体会議）	DMO・市町村等43名
R6. 6. 11		持続可能な観光セミナー	DMO・市町村等44名
R6. 7. 12		宿泊事業者向け経営力強化セミナー	宿泊事業者等28名
R6. 12. 6		第2回DMO連絡調整会議 （国の観光動向等のセミナーを内容 とした全体会議のほか、4つのテー マごとの分科会）	DMO・市町村等47名
R7. 1. 14	奥州市	基礎から学べるDMOセミナー [当協会の専門人材を派遣]	観光関係者等40名



持続可能な観光セミナー



宿泊事業者向け
経営力強化セミナー



第2回DMO連絡調整会議

【注書きに係る用語解説】

- 注1 V案内所：日本政府観光局が認定した外国人観光客案内所（ビジットジャパン案内所）。
- 注2 バリアフリー観光：高齢者や障がい者、外国人観光客など多様性に考慮した旅行のこと。
- 注3 いわて観光の日：松尾芭蕉が東北・北陸地方に旅立った日である5月16日を「いわて観光の日」として制定。
- 注4 いわて観光データマネジメントプラットフォーム（いわて観光 DMP）：科学的アプローチによる合理的な判断に基づき、着地整備の効果的な展開や戦略的なプロモーションを実施するため、令和4年度より岩手県が整備している各種観光データの収納・分析機能を備えたシステムのこと。
- 注5 DMO：Destination Management/Marketing Organization の略。地域の多様な関係者を巻き込みつつ、データマーケティングなどの科学的アプローチを取り入れた観光地域づくりを行う舵取り役となる法人。

収 支 計 算 書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

I 収入の部

(単位：円)

科 目	①予算額	②決算額	差異(①-②)	備 考
基本財産運用収入	1,064,000	1,064,020	△ 20	
特定資産運用収入	2,000	6,641	△ 4,641	
退職給付引当資産運用収入	1,000	1,917	△ 917	
法人運営準備金資産運用収入	1,000	4,724	△ 3,724	
賛助会員会費収入	56,583,000	56,577,000	6,000	
岩手県	19,550,000	19,550,000	0	
市町村	19,820,000	19,820,000	0	
市町村観光協会	5,516,000	5,516,000	0	
観光関係団体	11,697,000	11,691,000	6,000	
受託事業収入	32,383,000	46,556,200	△ 14,173,200	
北東北三県・北海道ソウル事務所管理運営	9,935,000	9,934,980	20	
いわての新しい観光推進体制整備事業	22,448,000	21,453,220	994,780	事業執行残
教育旅行受入施設支援緊急対策事業	0	15,168,000	△ 15,168,000	受託事業前払金
販売収入	1,525,000	1,477,026	47,974	
観光ノベルティ頒布代	1,525,000	1,477,026	47,974	
広告料収入	1,056,000	1,369,500	△ 313,500	HPバナー広告収入
受取会費収入	870,000	881,000	△ 11,000	
補助金等収入	0	94,000	△ 94,000	
ｲﾝﾊﾞｳﾝﾄﾞﾌﾟﾛﾓｰｼｮﾝ支援事業補助金（県）	0	94,000	△ 94,000	
負担金収入	6,684,000	6,684,000	0	
観光事業推進費負担金（県）	6,684,000	6,684,000	0	
雑収入	71,000	141,494	△ 70,494	
受取利息	1,000	14,699	△ 13,699	
雑収入	70,000	126,795	△ 56,795	
特定資産取崩収入	0	16,676,576	△ 16,676,576	
退職給付引当資産取崩収入	0	16,676,576	△ 16,676,576	退職者2名分
当期収入合計(A)	100,238,000	131,527,457	△ 31,289,457	
前期繰越収支差額	10,302,000	10,589,558	△ 287,558	
収 入 合 計 (B)	110,540,000	142,117,015	△ 31,577,015	

Ⅱ 支出の部

(単位：円)

科 目	①予算額	②決算額	差異(①－②)	備 考
事業費支出	73,307,000	73,836,325	△ 529,325	別紙「事業費明細書」参照。
観光宣伝紹介	10,539,000	9,819,674	719,326	事業執行残
国内観光客の誘致促進	9,861,000	8,681,854	1,179,146	誘致説明会等執行残
国際観光の推進	11,977,000	13,767,833	△ 1,790,833	ソウル事務所長派遣費用
受入態勢の整備	13,281,000	13,127,696	153,304	事業執行残
関係団体等への支援と連携	7,241,000	8,630,339	△ 1,389,339	教育旅行支援金R6執行分
協会の機能強化	20,408,000	19,808,929	599,071	事業執行残
管理費支出	35,036,000	50,268,903	△ 15,232,903	
役員報酬支出	156,000	121,600	34,400	
給料手当支出	18,980,000	18,398,399	581,601	
退職給付支出		16,997,125	△ 16,997,125	退職手当2名分
福利厚生費支出	7,685,000	7,547,561	137,439	
会議費支出	353,000	335,591	17,409	
旅費交通費支出	100,000	152,565	△ 52,565	
通信運搬費支出	450,000	364,593	85,407	
消耗品費支出	1,055,000	1,174,139	△ 119,139	
修繕費支出	100,000	86,707	13,293	
印刷製本費支出	220,000	217,800	2,200	
燃料費支出	120,000	111,085	8,915	
光熱水料費支出	1,800,000	1,699,904	100,096	
賃借料支出	1,386,000	1,398,379	△ 12,379	
保険料支出	63,000	61,212	1,788	
租税公課支出	1,410,000	117,400	1,292,600	消費税(R7計上)
支払負担金支出	250,000	55,000	195,000	Zoomライセンス見直し
支払寄付金支出	20,000	10,000	10,000	
支払手数料支出	325,000	678,976	△ 353,976	新会計システム購入
雑支出	563,000	740,867	△ 177,867	職員採用試験経費
特定資産繰入支出	1,297,000	1,054,105	242,895	
退職給付引当資産繰入支出	1,297,000	1,054,105	242,895	
予備費支出	900,000	0	900,000	
当期支出合計(C)	110,540,000	125,159,333	△ 14,619,333	
当期収支差額(A)－(C)	△ 10,302,000	6,368,124	△ 16,670,124	
次期繰越収支差額(B)－(C)	0	16,957,682	△ 16,957,682	

事業費明細書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位：円)

事業名	①予算額	②決算額	差異(①－②)
I 観光宣伝紹介	10,539,000	9,819,674	719,326
1 観光情報の発信	10,539,000	9,819,674	719,326
(1)観光情報高度化推進事業	4,969,000	4,529,760	439,240
(2)観光情報システム分担金事業	200,000	200,000	0
(3)パブリシティ有効活用事業	545,000	485,000	60,000
(4)観光宣伝媒体作成事業	3,844,000	3,524,011	319,989
(5)観光キャラクター活用事業	981,000	1,080,903	△ 99,903
II 国内観光客の誘致促進	9,861,000	8,681,854	1,179,146
1 国内観光客の誘致促進	4,380,000	4,185,345	194,655
(1)観光客誘致説明会	3,480,000	3,284,595	195,405
(2)エージェント招待事業	900,000	900,750	△ 750
2 教育旅行の誘致促進	5,481,000	4,496,509	984,491
III 国際観光の推進	11,977,000	13,767,833	△ 1,790,833
1 外国人観光客の誘致促進	981,000	481,631	499,369
2 外国人観光客の受入	1,816,000	1,423,410	392,590
(1)国際航空便歓迎行事等	56,000	49,760	6,240
(2)外国人観光案内所運営支援（いわて・盛岡広域観光センター）	1,350,000	1,350,000	0
(3)外国人観光客受入態勢整備事業	410,000	23,650	386,350
3 北東北三県・北海道ソウル事務所管理運営	9,180,000	11,862,792	△ 2,682,792
IV 受入態勢の整備	13,281,000	13,127,696	153,304
1 来県する観光客への対応	10,568,000	11,240,852	△ 672,852
(1)「いわて観光おもてなしセンター」・「V案内所」管理運営	9,205,000	9,877,852	△ 672,852
(2)いわて・盛岡広域観光センター運営支援	1,363,000	1,363,000	0
2 観光人材の育成	1,781,000	1,378,978	402,022
(1)観光ガイド育成事業	344,000	290,998	53,002
(2)観光業務優良従事者表彰	422,000	174,620	247,380
(3)接遇及び観光課題研修事業	1,015,000	913,360	101,640
4 多様な顧客ニーズへの対応	932,000	507,866	424,134
(1)「いわてバリアフリー観光情報案内所」管理運営	240,000	113,681	126,319
(2)「観光の日」事業	692,000	394,185	297,815
V 観光団体等への支援と連携	7,241,000	8,630,339	△ 1,389,339
1 関係団体への支援	5,041,000	4,130,513	910,487
(1)いわて観光キャンペーン推進費	2,401,000	2,401,000	0
(2)いわてウインターリゾート協議会事業	1,170,000	1,170,000	0
(3)各種キャンペーン支援事業	1,470,000	559,513	910,487
2 関係団体等との連携	2,200,000	2,139,080	60,920
(1)(公社)日本観光振興協会への拠出金	900,000	900,000	0
(2)(一社)東北観光推進機構事業	100,000	139,600	△ 39,600
(3)北東北三県観光立県推進協議会事業	50,000	50,000	0
(4)観光宣伝事業等負担	1,150,000	1,049,480	100,520
3 魅力ある観光地づくり支援事業	0	2,360,746	△ 2,360,746
(1)教育旅行受入施設支援緊急対策事業	0	2,360,746	△ 2,360,746
VI 協会の機能強化	20,408,000	19,808,929	599,071
1 魅力ある観光地域づくりへの支援	20,408,000	19,808,929	599,071
合 計	73,307,000	73,836,325	△ 529,325